

漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成28年11月15日 発行
毎月1回15日発行
公益社団法人 全国漁港漁場協会
橋本 牧
東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階
電話 東京(5114)9981
定価 1部 70円
(会員の購読料は会費の中に含む)

全国漁港漁場大会決議の実現求める

財務省、農水省、国交省等に要請

第67回全国漁港漁場大会が10月27日、東京都内で開催され、全国から約1200名が参加した。大会では、「新たな漁港・漁場・漁村・海岸の活性化を促進する漁港整備長期計画の策定と予算の確保」...



全国漁港漁場協会代表者による要請の様子

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。



磯崎陽輔農林水産副大臣(左から5人目)への要請

大臣をはじめ、関係者各位の御出席、御参加、御支援をいただき、誠にありがとうございます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

また、本大会の開催に当たり、東京都、東京都漁業協同組合連合会及び東京都漁港漁場協会の後援を頂きました。心より御礼申し上げます。

平成二十八年十月二十七日

第六十七回全国漁港漁場大会

順之輔会長(京都府漁協代表理事組合長)ら13名が、磯崎陽輔農林水産副大臣及び高市早苗農林水産大臣に要請し、漁港整備長期計画の策定と予算の確保を求めた。

我々は、先人から受け継いだ恵み豊かな海を守り、水産業と漁村を健全に維持・発展させることにより、安全で良質な水産物を提供し、「和食」に代表される健康で豊かな日本の食文化を支えてきました。

また、地域が力を合わせて知恵を絞る、水産業の活力向上に努めるとともに、漁村の持つ豊かな自然、文化、水産物などを活用した地域の活性化にも取り組んでまいりました。

水産業・漁村には、本格的な人口減少社会の到来による漁業従事者の減少や水産物国内消費の伸び悩み、地球温暖化等による水産物の生息環境の変化など、多くの課題が存在します。

漁港における水産物流通の効率化や品質・衛生管理の高度化により輸出を促進すること、或いは沿岸から沖合に至る広域的な環境改善による水産資源の回復を積極的に行うこと等により早急に対処する必要があります。

また、発生危険性が高まっている大規模地震津波や、近年強化が懸念される台風・爆弾低気圧等の自然災害に備え、防災・減災対策の強化が急務となっています。加えて、既存の漁港施設の高寿命化や多目的な有効活用を図ることにより、女性や高齢者も働きやすく、観光客にも魅力のある漁港・漁村を創っていくことが重要です。

我々は、これからもこれらの取り組みを続け、水産業を魅力ある産業として次世代に伝え、漁村を豊かで安心して暮らせる場とするため、努力して参ります。

このためには、漁港・漁場・漁村・海岸の整備による支援が将来に亘り計画に行われることが必要であり、左記の推進を強く提案いたします。

- 一 夢の持てる水産業・漁村を築くための次期長期計画の策定と平成二十九年予算の確保
一 水産物の輸出促進等、水産業の国際競争力強化と地域の活性化に資する漁港・漁村づくりの推進

- 一 海域の生産力向上と豊かな沿岸環境の創出に資する水産環境整備の推進
一 多発する自然災害に備えた漁港・漁村・海岸の強化対策の推進

平成二十八年十月二十七日

第六十七回全国漁港漁場大会

祝 辞

農林水産副大臣 儀崎 陽輔



本日ここに、全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

まず、本年4月の熊本地震、今般の度重なる台風によりおくなりになった方に、心からお悔やみ申し上げます。

林漁業者の皆様により添って、復旧に向けて全力を挙げて参ります。

さて、本大会は、漁港・漁場の総合的整備と漁港の合理的利用の促進を目的として昭和24年の第1回大会以来、本年で67回を迎えることに

なりました。この間、関係者の皆様におかれましては、漁港・漁場の整備促進はもとより、水産業が抱える様々な課題に積極的

に取り組んでこられたことに、深く敬意を表する次第です。

さて、我が国水産業・漁村をとりまく環境は、漁獲量の減少や漁業者の高齢化、水産物消費の減

退など依然厳しい状況にありますが、世界的には水産物需要の増大など追い風も吹いています。

このような状況の中で、農林水産省では、「攻めの農林水産業」の一環として、「水産日本の復活」の実現に向けて、漁業者自ら収入向上等に取り組

む一浜の活力再生プランや漁村地域が連携して漁業の活性化に取り組む「広域浜プラン」の策定を推進するとともに、HACCPに対応した流通・加工施設の整備等に

関係する必要な予算の確保と制度の充実を図られるよう努力してまい

祝 辞

衆議院農林水産委員長 北村 茂男



本日ここに、第67回全国漁港漁場大会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

まず、本日御列席の皆様をはじめ、日頃より漁港・漁場の整備の推進に格段の御尽力をい

ただいております関係各位に対し、衆議院農林水産委員会を代表して、深く敬意を表する次第であります。

ご承知のとおり、我が国水産業・漁村は、新鮮で安全な水産物を安定的に供給する役割だけでなく、豊かな自然環境の形成、海の安全・安心の提供など、国民の豊かな生活を支える多面的な機能

を発揮しております。しかしながら、我が国水産業・漁村をめぐる情勢は、水産物消費の低迷、漁村の高齢化・人口減少など、極めて厳しい状況が続いているとともに、東日本大震災からの復興や、大規模災害に対する漁港・漁村の防災・減災対策、加えて、熊本大地震や、本年8月から連続した台風による被害への対応が重要な課題となっております。

こうした状況に対処するため、補正予算なども含め、各般の施策を展開されております。また、「農林水産業・地域の活力創造プラン」では、かつては世界一を誇った日本の

水産業の復活が謳われ、浜の活性化や資源管理の取組、水産物の出口戦略・マーケティング・輸出の拡大等が掲げられております。これらの施策の展開にあたり、十分な予算の確保が求められるところであります。

さらに、現在、政府においては、新たな「水産基本計画」及び、これと連携した新たな「漁港漁場整備長期計画」策定に向けて検討が進められており、来年3月に両計画が閣議決定される予定と承知しております。

このようなとき、全国漁港・漁場・漁村の関係者が一堂に会され、水産業・漁村の活性化の推進等に向けて、決意を新たにさせていただきます。誠に意義深いものがあると思います。

私も衆議院農林水産委員会といたしましては、皆様の御意見を十分踏まえ、水産業・漁村の再生のために、活発な議論を展開し、豊かで活力ある漁港・漁場・漁村の実現を図られますよう、全力を傾注してまいらる所存であります。

終わりに、本大会の御成功と皆様方の御健勝を心からお祈りいたします。私の挨拶とさせていただきます。

祝 辞

参議院農林水産委員長 渡辺 猛之



本日ここに、第67回全国漁港漁場大会が開催されるに当たり、参議院農林水産委員会を代表して、「一言」御挨拶申し上げます。

本日ご参集の皆様方に申し上げます。

我が国水産業と漁村は、安全で良質な水産物を食卓に供給し、世界に誇る「和食」をかたちづくり、日本の食文化を支えてきました。

しかし、近年では、漁業従事者の高齢化と後継者不足、漁業生産量の減少、水産物の消費の減少など大変厳しい状況が続いております。

現行の漁港漁場整備長期計画は今年度が最終年度となっており、我が国の豊かな食文化を次世代に引き継ぐためには、水産業の発展と漁村の活性化が不可欠です。

新たな長期計画は、現場が抱える多くの課題を踏まえて策定されることが必要と考えております。

近年、大規模地震発生頻度が高まり、また、大型で強力な台風の襲来等による自然災害が増加

祝 辞

漁港漁場漁村整備促進議員連盟連会長 衛藤 征士郎



ただ今、紹介にあずかりました漁港漁場漁村整備促進議員連盟会長の衛藤であります。

御列席の皆様には日ごろから漁港漁場漁村の整備を通じ、我が国水産業の振興と漁村の発展にご尽力を頂いております、感謝

を目的として議員連盟を作り、その趣旨に賛同する衆参合わせて140余名の国会議員で活動しています。漁港漁場漁村の予算確保、法制度の改正、漁港漁場整備長期計画の策定、都市と漁村の交流促進等に取り組んでまい

りました。現在の水産業は我が国が本格的な人口減少社会を迎えたことによる水産物国内消費の伸び悩みや漁業従事者の減少・高齢化、地球温暖化の影響等による、漁期や漁場の大きな変動、或いは台風や低気圧の強大化による漁港・漁場の被害など、多くの課題を持っています。

このため我が国水産業を持続的に安定的な成長産業として復活させるため、漁港の衛生管理対策の向上や流通の効率化により水産物の輸出を推進するなどの、広域的な海洋環境の改善により、水産資源の回復を図るなど、迅速な水産基盤の整備が急務となっております。

本年度は漁港漁場整備長期計画の最終年度となり、国で次期長期計画の検討が行われています。様々な課題を克服し、水産業を夢のある産業として、漁村もまた夢のある地域として次の世代に引き継ぐため、皆様の熱い想いをこの長期計画に的確に反映させていく必要があると考えています。

8月末に農水省から財務省へ平成29年度予算の概算要望書が提出されました。水産基盤整備予算の要求は840億円。今般の予算要求は、地域にとって緊急性の高い諸施策が盛り込まれていま

すが、平成29年度予算は次期長期計画の初年度として特に重要な意味を持つので、全国各地の水産業及び漁村を支えていく観点から、予算の満額獲得を目指さなければなりません。

我が国水産業が活力を取り戻し、水産業を支える地域が活性化されるよう、議員連盟としてベストを尽くしていく所存であります。

最後に、本大会の成功と我が国水産業及び漁村の発展、またご列席の皆様方のご健勝、ご発展を心から祈念いたします。私の祝辞とさせていただきます。

第67回全国漁港漁場大会に祝電・メッセージを下された方々

Table listing political figures and their messages. Includes: 自由民主党総裁 (安倍晋三), 国務大臣 国家公安委員会委員長 (松本純), 民進党代表 (蓮舫), 参議院議員 (山田修路), 参議院議員 (山田俊男), 全国離島振興協議会会長 (白川博一).

出席された国会議員

Large table listing members of the Diet (衆議院 and 参議院) who attended the event. Includes names like 磯崎陽輔, 北村茂男, 渡辺猛之, etc.

代理の方が出席された国会議員

Table listing substitute members of the Diet (衆議院 and 参議院) who attended the event. Includes names like 赤澤亮正, 井林茂, 西村康稔, etc.

順不同、敬称略

議長選出



議長に選任された豊田悠次郎 (豊田悠次郎 議長)

提案理由

会長 日高昭彦



Main text of the proposal, explaining the current state of the fishing industry in Miyazaki, challenges faced by fishermen, and the proposed measures to support them.

Continuation of the proposal text, discussing future plans, government support, and the importance of maintaining the fishing industry for the region's economy and culture.

Additional text on the right side, likely related to the proposal or a separate section, discussing industry trends and regional development.

取組事例1

漁港なくして漁業なし、生活もなし

三重県鳥羽磯部漁業協同組合監事(元水産庁)

佐藤 力生



三重県下の漁村に移り住み、漁業現場を経験することになり、私の漁港に対する認識は大きく変わりました。水産庁職員の時、地方からの漁港整備への強い要望は、水産庁予算の2/3を占めた。金の力ゆえに思っていました。漁港は漁業にとっただけでなく、地域住民の生活にとっても欠かせないものでした。漁港は

道路や橋などと違う「命のかよった構造物」なのです。熊野市の18軒中16軒が離村し、消滅寸前の半林・半漁の集落を見て、ここに漁港さえあったらなごころまで衰退しなかったらどうかと思いましたが。漁港があったからこそ、人が住み、魚を獲ることができ。漁港がなければ漁業も生活もありません。

鳥羽市安楽島町の高齢漁業者から、戦後の食糧難の時、一般職の方が「魚を分けて欲しい」と毎日漁港で待っていたことを聞きました。まさに「困窮しても漁港あり」。日本に何が起るか分かりません。海の有難さを漁業現場で実感したゆえに、その

日に備え、漁港は絶対に減らしてはならないと強く思います。私が住むJF鳥羽磯部漁協答志支所の水揚金額は、この12年間で1.5倍にも増加しました。その大きな要因は積極的な漁港整備です。特に新設漁港、舟越地区は漁船の稼働日数の向上とフリ養殖の水揚金額の増加に大きく貢献しました。

今後の公共事業の使命とは、貧困と格差拡大の元凶であるお金の偏在を是正し、世の中に広くお金を巡らすことではないでしょうか。衰退した地方と漁村を再び豊かにしていくために、その重要性は大きいと思います。

出席された来賓(省庁など)

水産庁長官	佐藤 一雄
水産庁漁港漁場整備部長	高吉 晋吾
水産庁漁港漁場整備部計画課長	岡 真行
水産庁漁港漁場整備部整備課長	吉塚 靖浩
水産庁漁港漁場整備部防災漁村課長	坂本 幸彦
水産庁漁港漁場整備部防災漁村課水産施設災害対策室長	山本 竜太郎
衆議院調査局農林水産調査室長	石上 智
参議院農林水産委員会調査室長	大川 昭隆
東京都産業労働局農林水産部水産課長	中野 卓
東京都港湾局離島港湾部計画課長	佐藤 賢治

出席された来賓(団体)

(一社)大日本水産会常務理事	小林 憲
(公社)日本水産資源保護協会事業部長	岩下 誠
(一社)マリノフォーラム21代表理事会長	井貫 晴介
(公社)全国豊かな海づくり推進協会専務理事	濱田 研一
(一社)全日本漁港建設協会会長	長野 章
(一財)漁港漁場漁村総合研究所理事長	影山 智将
(一財)漁港漁場漁村総合研究所常務理事	長元 雅寛
(一社)水産土木建設技術センター理事長	宇賀神 義宣
(一社)漁業情報サービスセンター常務理事	淀江 哲也
漁村水環境研究会会長	淀島 基
(公財)漁船海難遺児育英会専務理事	石山 新悟
漁船保険中央会会長	山田 隆義
(一財)海洋水産システム協会会長	津端 英樹
全国漁協女性部連絡協議会会長理事	吉村 榮子

事業名：水産生産基盤整備事業
地区名：舟越地区(三重県鳥羽市)

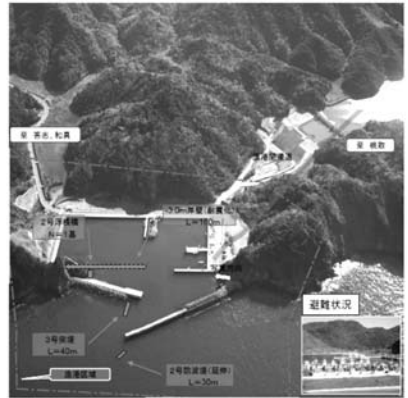
要求理由

●地区の概要

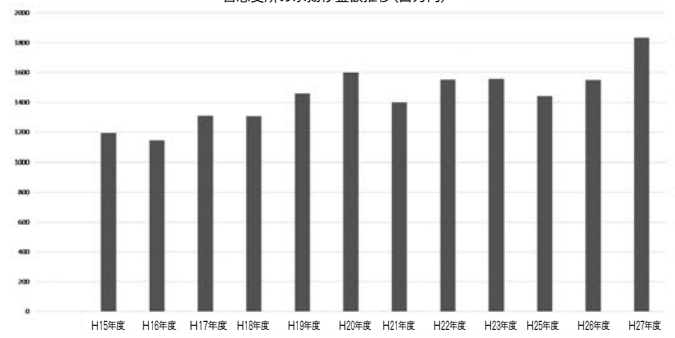
当地区は伊勢湾口の志志島内伊勢湾奥向きに開口しており、島内3漁港の避難港として整備を進めている。志志島は離島であるにも拘わらず、海上からの緊急物資の輸送基地が整備されていない状況にある。

●目的

ブリ・ワカメ養殖の生産性を向上させるため、洋き棧橋及び防波堤の整備により、設備作業の効率化及び安全な航路の確保を図る。風浪による港内静穏を確保するため、3号突堤の整備により、漁船の安全係留を促進する。また地域防災計画に基づく防災拠点として位置づけ、地震・津波等有事の際に、緊急輸送の確保や早期の漁業活動再開のため、耐震強化岸壁を整備することにより、地域経済の早期復興に資するとともに、水産物の安定供給を図る。



答志支所の水揚げ金額推移(百万円)



取組事例2

水産業の競争力強化と輸出促進

鹿児島県東町漁業協同組合 代表理事組合長

長元 信男



長島町の概要

鹿児島県の北西、最北端に位置し、人口約1万人の小さな町で、東は八代海に面して九州全土を臨み、西は長島海峡を挟んで大草と対峙しており、長島本島・獅子島・伊唐島・諸浦島ほか23の島々が点在し、極めて恵まれた自然豊かな町で、極めて恵まれた自然豊かな町の町であります。

当組合は、養殖漁業を中心とした沿岸漁業が盛んに営まれており、特にこの立地条件を活かした養殖漁業は本町の基幹産業として普及しており、昭和49年黒ノ瀬戸大橋開通を契機に本格的なブリ産地として歩みだしました。

現在単一漁協としては、「日本のブリ産地」として、「龍王」ブランドのもと国内は基より海外輸出も国内水産業の先陣として躍進し続けております。

中心となる漁港は、薄井漁港で昭和29年10月に第1種漁港に指定され、昭和40年3月に第2種漁港、平成14年3月に第3種漁港と格上げされました。

平成27年度には、6次化ファンドを活用して漁協では国内初となる株式会社を設立し、新たな流通と販路拡大に取組み始めたところでもあります。

平成27年度の経済事業取扱高は32.9億円です。うち販売事業の取扱高11.5億円、加工事業の取扱高56億円、うち海外輸出が20億円の高額となっておりです。今後は、海外輸出の倍増を目指し、国内販売も新たな展開を見据えた挑戦を続けて参ります。

C/P認証、平成15年に対EU輸出水産食品取扱い施設に認定とともに養殖魚では国内で初めてでありました。現在では、年間100万尾のブリを加工販売し、取扱高は50億円以上であります。更に高次化の加工を行うために平成25年に第2加工場を建設しております。

豊かな海を育てる藻場・干潟の回復に向けて

取組事例3

豊かな海を育てる 藻場・干潟の回復に向けて

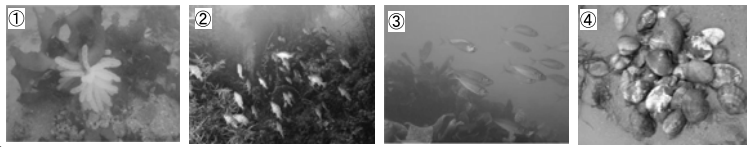
国立研究開発法人水産研究・教育機構
研究推進部 研究開発コーディネーター

桑原 久実



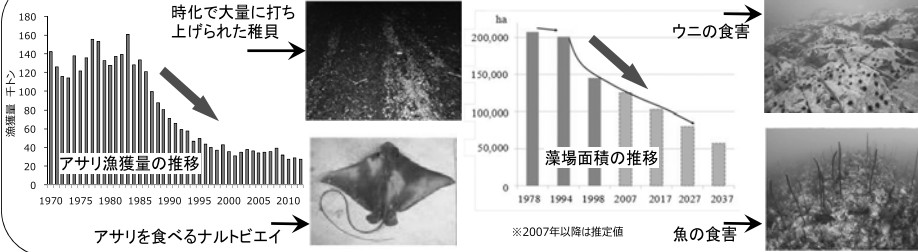
面積は約100ヘクタールになり、稚エビや魚類も回復する傾向にあります。水産庁は、この事例のような

藻場・干潟は水産資源にとって重要な場所

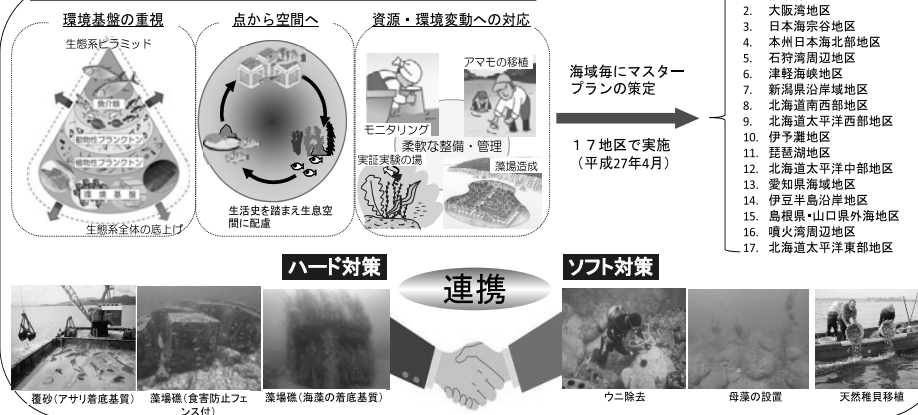


- ①カジメに付着するヤリイカの卵塊
- ②ガラモに群れるメバル
- ③クロモに群れるアジ
- ④干潟に生育する高密度のアサリ

藻場の減少、干潟の機能低下は深刻な問題



水産環境整備を活用した藻場・干潟の回復、そして水産資源の復活へ



藻場・干潟は、豊かな生態系を育む機能を有し、水産生物の産卵場、餌場、幼稚仔の保護・育成場として、重要な役割を担っています。しかし、高度経済成長期の沿岸域の開発や昨今の気候変動に伴う海水温上昇等の影響により、藻場面積の減少、干潟機能の低下が顕著になっていきます。

このことは、藻場・干潟を利用する水産生物に大きく影響し、沿岸漁業の生産量が低下しています。

大分県佐伯市名護屋は、2007年から「大規模磯焼け対策促進事業」の藻場再生の実証モデル地区に選定され、潜水漁業者が主体となり、国や県の専門家らの協力を得て、本格的な磯焼け対策を開始しました。全く海藻が見られなかった海底は、漁業者によるウニ除去、海藻を食べる魚の除去、小学生の協力を得た海藻のタネ播き、稚エビの住み処を提供する施設などにより、2013年頃からウニの密度は、ほぼゼロになり、それは急激に増加しました。

藻場・干潟をはじめ豊かな水産資源を回復するために「水産環境整備事業」を実施しています。本事業は、生態系全体の生産力の底上げを目指す(環境基盤の重視)、水産生物の動態や生活史に対応した良好な生息空間を創出する整備(点から空間へ)、資源や環境の変動を踏まえた柔軟な整備・維持管理とそれに必要なモニタリング(資源・環境変動への対応)を基本方針に定めています。

具体的には、計画(マスタープラン)策定を十分に行った上で、それに基づいて実施することになります。

藻場・干潟の回復は、まず、回復を阻害している制限要因を特定し、次に、その要因の除去・緩和手法を検討します。制限要因を特定しない対策を実施しても試行錯誤になる危険があるためです。また、対策には、ハード対策とソフト対策があります。両者の特徴を良く理解した上で、有機的な連携を十分考慮し、藻場・干潟対策などを積極的に進める必要があります。

藻場・干潟の回復は、まず、回復を阻害している制限要因を特定し、次に、その要因の除去・緩和手法を検討します。制限要因を特定しない対策を実施しても試行錯誤になる危険があるためです。また、対策には、ハード対策とソフト対策があります。両者の特徴を良く理解した上で、有機的な連携を十分考慮し、藻場・干潟対策などを積極的に進める必要があります。



平成6年建設の加工場



長島本島と竹島を結ぶ橋



活魚ボンツーン(活魚生簀付き浮桟橋)



薄井漁港と竹島



市場前に整備された屋根

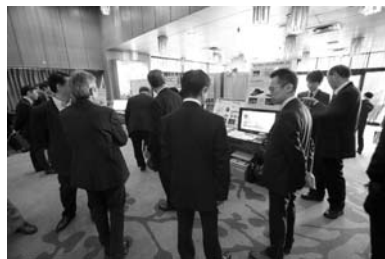
漁船海難遺児育英会

全国漁港漁場大会では、「漁船海難遺児育英会」の募金活動が恒例となっている。今大会においても（公財）漁船海難遺児育英会の石山新悟専務理事を先頭に、大会会場において募金活動を行った。多くの大会参加者が募金活動に賛同し、参加者が「水色の羽」を胸に付け大会に臨んでいた。



多くの参加者が募金

（一社）漁港漁場新技術研究会会員による展示



会場の様子



（第67回全国漁港漁場大会の写眞）
（は）水産経済新聞社の提供

第15回 全国漁港漁場整備技術研究発表会開催

「第15回全国漁港漁場整備技術研究発表会（主催・水産庁、富山県、公社）全国漁港漁場協会が、富山県富山市「富山県総合福祉会館」サンシップとよまで10月19日、20日の2日間開催され

た。この発表会は、昭和31年から平成13年まで「全国漁港整備技術研究発表会」として46回開催されてきたが、平成14年から漁場整備に関する技術を加え、漁港と漁場を一体的

に取り扱う発表会として名称も改められ、本年度は第15回目、昭和31年からは通算111回目の発表会となる。全国の漁港漁場整備にかかるといわれる研究開発や先進事例を紹介し、漁場整備の技術の向上、普及を目的としており、今年度は全国の漁港漁場関係技術者約二百十名が参加した。

1日目の発表会は、午前9時30分から吉塚靖浩水産庁漁港漁場整備部長、佐藤一美富山県農林水産部長が主催者挨拶を行い、続いて午前10時の一般発表として、①間伐材を用いた液状化対策工法、②作業船位置・回航情報システムによる漁港漁場工事の効率化について、③鳥取方式

のサンドリサイクル工法の活用について、④水底土砂除去装置および水底土砂除去工法、⑤漁港施設に関する機能診断手法、⑥自然環境調和型防波堤構造物の機能保全に向けて、⑦瀬内海における漂流アモの炭素堆積量推定、⑧小浜湾沖合における水産物の生産・流通に関するBCP、⑨漁港BCPの策定について（三重県版）⑩マニュアルと三浦浦漁港事例の8題が発表された。

午後の部は、張勁富山大学大学院理工学研究部教授の「木一本、鱈十本を食う」と題した基調講演が行われ、参加者から各発表後に質疑応答がなされた。最後に、来年度の開催県である青森県の松橋利昭青森県農林水産部長が挨拶を行い、陸上点検員の用

指導致長より挨拶があった。また、釣り機橋については、無料開放しているため、毎年の維持管理の費用の捻出が大変であることが説明された。次に黒部漁港の日本初の新築漁港（8時20分集港）と、東コース・石田漁港及西コース・氷見港及び新築漁港（8時30分集港）に分かれて行われた。西コースでは、「魚々座」にて定置網の説明、氷見の歴史や文化を学び、今年度においしストックマネジメント事業や「魚座」を見学後、新築漁港へバスを乗りこみ、大量に漁獲されたササガエビの「屋せり」を見学することができた。東コースでは、最初に石田漁港内のフィッシュアリーナと釣り機橋を視察し、フィッシュアリーナでは保管収容するラッシュヤーボート多数を揃えているために、陸上点検員の用地造成が行われていた。

研究発表会の模様



2016 漁港漁場漁村海岸写真コンクール

特選1席

農林水産大臣賞



特選2席

水産庁長官賞



入賞作品決定!

(公社) 全国漁港漁場協会と全国漁港海岸防災協会の共催(一財) 漁港漁場漁村総合研究所と(一社) 水産土木建設技術センターの協賛、水産庁後援による2016漁港漁場漁村海岸写真コンクールの入賞作品が、第67回全国漁港漁場大会の場で発表された。

同コンクールの作品審査は9月14日に行われ、入賞作品は、パンフレットにまとめられて大会参加者に配布された。

入賞作品は、特選1席(農林水産大臣賞) 1点、特選2席(水産庁長官賞) 1点、特選3席(全国漁港漁場協会賞、全国漁港海岸防災協会賞、漁港漁場漁村総合研究所理事長賞、水産土木建設技術センター理事長賞) 各1点、入選5点、佳作10点で、入賞者は別表の通り。

なお、入賞作品は全国漁港漁場協会のホームページに掲載しています。

特選3席

全国漁港漁場協会賞



特選3席

全国漁港海岸防災協会賞



2016漁港漁場漁村海岸写真コンクール入賞者一覧

入賞	題名	氏名
特選1席	ミーティング	山口 光子(岩手県宮古市)
特選2席	船と生簀模様	米倉 勝(鹿児島県出水市)
特選3席	小名浜漁港、出漁	門林 泰志郎(福島県いわき市)
特選3席	鍛錬	石角 尚義(香川県三豊市)
特選3席	今が旬	斎藤 敏雄(神奈川県大磯町)
特選3席	大漁旗なびかせ!	井戸田 洋二(愛知県小牧市)
入選	春を待つ	宮田 敏幸(兵庫県西宮市)
入選	新春の漁港	牧野 慎三(兵庫県明石市)
入選	笑顔	藤浦 武久(大分県佐伯市)
入選	大漁! 大漁!	仲川 幸延(愛媛県宇和島市)
入選	初孫	平井 正友(神奈川県横浜市)
佳作	厳寒のホッキ漁	清重 悟(北海道幕別町)
佳作	帰港	松本 晋児(徳島県美波町)
佳作	夏の路地裏	山本 安男(兵庫県神戸市)
佳作	活気溢れるマグロ漁	谷津 和正(静岡県静岡市)
佳作	サングワチャー	仲程 梨枝子(沖縄県那覇市)
佳作	地引網に群がるカモメ	小栗山 秀男(千葉県九十九里町)
佳作	あうん	田中 嘉宏(和歌山県紀の川市)
佳作	小友祇園祭	長谷川 裕二(長崎県佐世保市)
佳作	天日干し	三ツ井 道代(静岡県掛川市)
佳作	男たちの祭り	斎藤 雄幸睦(岡山県岡山市)

特選3席

漁港漁場漁村総合研究所理事長賞



特選3席

水産土木建設技術センター理事長賞



